



第 13 期事業年度
(平成 28 年度)

決 算 報 告 書

平成 29 年 6 月

国立大学法人 信州大学

平成28年度 決算報告書(補正予算一有)

国立大学法人 信州大学
(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	13,744	13,895	151	(注1)
うち補正予算による追加	0	1	1	
施設整備費補助金	362	490	127	(注2)
うち補正予算による追加	0	0	0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	652	940	287	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	73	48	△ 25	(注4)
自己収入	28,971	30,762	1,790	
授業料、入学金及び検定料収入	6,189	6,059	△ 129	(注5)
附属病院収入	22,559	23,762	1,202	(注6)
財産処分収入	0	0	0	
雑収入	223	940	717	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,624	3,937	312	(注8)
引当金取崩	0	158	158	
長期借入金収入	2,328	2,416	87	(注9)
目的積立金取崩	0	32	32	(注10)
計	49,757	52,682	2,924	
支出				
業務費	40,497	42,317	1,820	
教育研究経費	20,156	21,195	1,038	(注11)
うち復興関連事業	0	0	0	
診療経費	20,340	21,121	781	(注12)
うち復興関連事業	0	0	0	
施設整備費	2,763	2,954	190	(注13)
うち耐震対策事業	0	0	0	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	652	940	287	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,624	3,995	370	(注15)
長期借入金償還金	2,219	2,192	△ 26	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	0	0	0	
計	49,757	52,400	2,642	
収入—支出	0	281	281	

○予算と決算の差異について

- (注1) 平成28年度補正予算(第2号)、特殊要因経費「退職手当」の追加交付による増、精算のために収益化された運営費交付金債務を「目的積立金取崩」に区分修正を行ったことによる減により、予算金額に比して151百万円多額となっています。
- (注2) 平成27年度国立大学改革基盤強化促進費の前年度からの繰越額を使用したこと等により、予算金額に比して決算金額が127百万円多額となっています。
- (注3) 平成28年度補正予算(第2号)にかかる国立大学法人設備整備費補助金および予算段階では予定していなかった補助金事業の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が287百万円多額となっています。
- (注4) 施設費交付事業の見直しにより、予算金額に比して決算金額が25百万円少額となっています。
- (注5) 学生数において、在籍者が予定を下回った等のため、予算金額に比して決算金額が129百万円少額となっています。
- (注6) 高額医薬品の使用増及び循環器・整形外科系疾患の手術件数増に伴い診療単価が上がったことにより、予算金額に比して決算金額が1,202百万円多額となっています。
- (注7) 農場演習林収入等の増により、予算金額に比して決算金額が717百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階では予定していなかった産学連携等研究経費の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が312百万円多額となっています。
- (注9) 平成28年度補正予算(第2号)にかかる施設費貸付事業(病院特別医療機械設備実施予定事業)の決定により、予算金額に比して87百万円多額となっています。
- (注10) (注1)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が32百万円多額となっています。
- (注11) (注1)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,038百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由に伴う、医薬品・材料費の増等により、予算金額に比して決算金額が781百万円多額となっています。
- (注13) (注2)および(注4)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が190百万円多額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が287百万円多額となっています。
- (注15) (注8)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が370百万円多額となっています。